

議会だより

第34号
9月
定例会
2012

2012.10.22発行

特集

まちかどインタビュー
明浜・城川
P14

明浜の小学校再編へ

定例会②

海外視察研修

常任委員会④

議員の賛否一覧表

⑦

交付税減額！財政どうなる 代表質問⑧

身近なジオを求めて

⑩



宇和中学校 運動会

身近なジオを求めて



水車小屋 リニューアル予定



西予市で一番小さな田んぼ？岩上田

城川



アンモナイトの看板



宮野浦断層近く



三瓶



三瓶沖

明浜



野村

石灰岩



大野ヶ原



えひめちゃん(右)

宇和



コウノトリ

秋も深まりました。身近なジオをさがしてみませんか。議員21名はいろいろな委員会に属し、活動しております。

8つの委員会、総務・厚生・産建・議会運営・議会だより・議会活性化・新市立病院建設・環境衛生施設建設特別委員会があり、それぞれの議員が兼務しています。

今回議会だより委員の一員として身近なジオを探してみました。ぜひ皆さんも宝探しをしてみてください。

(徳)

編集委員	
委員長	源 正樹
副委員長	井関 陽一
委員	菊池 純一
	田中 徳博
	二宮 一朗
	松山 清
	宇都宮 明宏

明浜の小学校再編へ



統合校舎建設予定地

9月定例会は9月3日から19日までの17日の会期で開催され、議案18件、認定（平成23年度決算）13件、要望1件、意見書3件を審議しました。

主な一般会計 補正予算

議会海外視察研修

293万円

再生可能エネルギーや畜産バイオマス利用に関するドイツ・オランダへの視察研修に係る経費。



バイオマス発電所（ドイツ）

買い物アンケート

80万円

市内の高齢者を対象に買い物環境の実態調査に係る経費。

農業後継者育成

946万円

45歳未満の新規就農者6名分に対する経費等。

人材育成事業

211万円

研修に参加しながら市内特産品販売の営業活動を行う2名のための臨時雇用に係る経費。

ホームページ改善

264万円

西予市ホームページ全面リニューアルの経費。

有害鳥獣捕獲補助金

550万円

捕獲予定数を超えるイノシシ・ニホンジカの捕獲補助金の増額。

がけ崩れ防災対策

1億6千454万円

地震対策県補助金の利用による13ヶ所分の追加工事費用等。

林業労働者確保対策

1千158万円

西予市森林組合への緊急一時的な補助。人件費の2割を補填し、雇用確保のための経費。

おいねさんウォーク

100万円

来年開催の第3回おいねさんウォークへの補助。

学校建設費

2千608万円

明浜地区小学校統合校舎建設に伴う設計費用等。建設地は、依津地区に決定した。

新庁舎建設には調査研究費用も含めて24億5千532万円の事業費がかかりました。このうち合併特例債として借り入れた20億3千530万円については、元利償還金の7割が後年度に普通交付税として返ってきます。



新庁舎1Fロビー



新庁舎外観

質疑

西予市森林組合への補助は

市長 西予市森林組合は、西予市の約75%を占める森林を守る重要な責務を負っています。公的な役割を果たしてきた組合を支援する必要があると思います。
今回の予算は、経験が必要な林業労働者を緊急的に育成補助するためであり、組合への赤字補てんではありません。



豊かな森を活かすために（城川町）

物産販売マネジメント人材育成事業の内容は

産建 西予市内の特産品を販売拡充出来る人材育成を緊急雇用対策と合わせて実施します。

改善後のホームページ運用計画は

総務 管理運営は基本的部長に情報推進課が行います。
各課からの新規情報を得て、運営する計画です。



林業活性化センター内（野村町）

ブログやツイッターやフェイスブックといったサービスの導入は

総務 今後の検討課題と部長したいと思います。

獣肉処理加工施設の実績と課題は

産建 処理予定数量の8割程度の実績です。冷蔵設備など施設の能力を強化することで受入態勢を高めて、改善したいと思っています。

今後の消防広域化への見込みは

市長 愛媛県では、各自自治体の意見が整わず、消防広域化はとん挫しているのが現状です。八幡浜消防との話し合いをする必要があると考えています。

平成23年度会計決算額

単位：万円

会 計		歳入額	歳出額	差引額
一 般 会 計		2,675,101	2,611,564	63,537
特 別 会 計	授産場	2,421	1,965	456
	住宅新築資金等貸付事業	682	682	0
	後期高齢者医療	54,202	54,065	137
	育英会奨学資金貸付	10,000	3,145	6,855
	国民健康保険	586,992	584,860	2,132
	介護保険	487,021	485,387	1,634
	簡易水道事業	26,859	23,799	3,060
	農業集落排水事業	41,501	41,382	119
公共下水道事業		95,540	93,509	2,031

議員の海外派遣の意図は

市長 議会活動として、将来の西予市への活用や問題点を研修されることは良いことだと思います。しかし住民の声がある

再生可能エネルギー政策は西予市のためになるのか

以上は、議会としても財政的に何らかの対応策をするべきと、議会に投げかけていきたいと思っています。
市長 これからの重要な施策と位置付けたと思います。
再生可能エネルギー計画の作成を指示しています。西予市の将来に大きな力を与えてくれると思っています。

海外視察研修費用で激論

総務常任委員会

審査報告

補正予算

議会運営事業

賛成

ドイツは脱原発をいち早く宣言し、再生可能エネルギーの先進国で、バイオマスタウン構想を打ち出している西予市にとつて特に参考になる。

意見
おイネさんによるまちづくり推進のためにシーボルトゆかりの地を訪ねる事は有意義である。

反対
海外に行かなくても研修出来る場所があり公費での視察は控えるべき。

個人で全額負担して行くのであれば良いと思う。

偉人伝承事業の内容は

来年3月に行われる

「おイネさんウォーク」

の補助金で、大人12名、

西予市の中学生25名、長

崎市の中学生10名の計47

名が参加予定です。

中学校施設整備事業

宇和中学校外溝工事の

測量・設計委託料との説

明。

意見
正門からの車の出入りを考慮した設計にして地



宇和中学校正門

元業者で対応してほしい。宇和給食センター老朽化が進み安全・衛生面からも早急に対応すべきでは

学校再編を視野に入れながら検討します。

マイクロボスの修繕費につ

いては買い換えた方が効

率的でないか

走行距離・状態を見て検

討します。公用車全車両

のリースについても一部

使用しているが比較検討

したい。

防災行政無線更新時期に

ついては

野村地区は今年度の予算

ですすでに実施設計を進

めており、25・26年度で

完成予定。また、聞こえ

づらい等の要望について

は、調査を行い外部スピー

カーの増設や性能アップ

等に対応したい。

ホームページ事業の改善は

情報の探しやすさ・画面

の見やすさ・使いやす

い操作性の3点を中心に

リニューアルするための

経費で、10月から12月に

かけ要件定義を行い改善

したいとの説明があり、

議会からも容易に更新出

来るシステムにしてほし

いと要望。

西予市育英会奨学資金貸

付額が減少しているのは

なぜか

募集要項は変えていな

いので、応募者数の減少

と他の奨学資金の利用が

考えられます。

決算認定

地域づくり交付金で防犯

灯の設置は出来るか

交付金に使い道の制限

は無いので可能です。

CATVの加入率が低い

のはなぜか

宇和地区ではTVを見る

のに不便性が無いため

視察研修

7月17日から19日にか

け宮城県と岩手県を回り、

気仙沼市議会では、「津

波死ゼロのまちづくり」

について3・11の被害状

況と合わせて説明を受け、

その悲惨さに身が凍る思

いでした。TVで放映さ

意見書

です。開局5周年キャン

ペーンなどで加入率を上

げたい。

児童・生徒国際交流事業

の引率者の負担は

全て市で負担しており、

昨年、中学生はユージー

ランド、小学生はグアム

への海外派遣でした。

採択

れているので分かってい

たつもりでしたが、実際

の現場との認識の違いに

驚きました。津波でん

でんこ“個人が勝手に逃

げなさいと云う意味で、

とにかく避難する事の大

切さを訴えられていまし

た。西予市もこれから新

しい防災マップを住民と

一緒に作り上げ、避難の

大切さを訴えていきたい

です。

また、田老第3小学校

では、かまぼこの板展覧

会による絆を大切に交流

を約束し、葛巻町では、

小規模のバイオマス発電

と廃校の利用について研

修しました。



田老第3小学校訪問(岩手県)

慢性的医師不足と保育体制の見直しは

厚生常任委員会

審査報告

市立病院の医師確保は

野村病院において、7

月に地元出身の内科医師

が1名増員となりました。

これにより、慢性的な医

師不足と、今年度支援し

ている土居診療所等の診

療について医師の負担軽

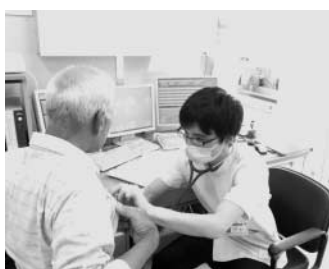
減が計られました。

外科系医師の不足につ

いては、引き続き確保に

努め、二次救急体制を維

持します。



野村病院での診察

市立保育園民営化の取り

組みは

保育体制の見直しや、

保育士の処遇等について

今年度中に方針を策定し

ます。

病児・病後児保育事業の

拡充は

病児病後児保育対応型

施設では、その規模が大

きくなることや、看護師

二名以上等の配置基準が

あり、看護師の確保が難

しいのが現状です。



うわまち南保育園の病児保育

意見

簡易水道施設や小規模給水施設が地元で自主管理できなくなつた場合等も想定して、簡易水道事業の統合についての意識付けを地域に対して

視察研修

行つて欲しいとの要望が出されました。

7月10日から12日にか

け、北海道東部および

東京の衆議院第2議員会

館で研修を行いました。

最初に新市立病院建設

の参考にするため、建設

中の市立根室病院を訪問

しました。

慢性的な医師不足解消



医師確保について学ぶ(根室病院)



タンチョウの生育環境説明(釧路)

のため、選任職員の配置

(2名)をはじめ、大学

への招へい依頼、ホーム

ページによる募集、民間

紹介業者への斡旋依頼の

ほか、給与や住宅等の優

遇条件を提示することで、

新病院開院に向け、現在

12名の医師を確保してい

ました。

次に釧路市丹頂鶴自然

公園を訪ね、北海道での

人間と自然環境との共生

について学びました。「自

然には会いに来てくれない

流れを教わりました。

ただそこにあるのが自然

という発想は西予市にも

通じるものがありました。

最後に、衆議院第2議

員会館で社会保障改革関

連法案の年金・子育て関

連について研修をしまし

た。

内閣府・文部科学省・

厚生労働省の担当官から

社会保障制度改革推進法

案骨子や、子ども・子育

て関連三法案についての

説明を受け、幼保連携型

認定こども園についての

流れを教わりました。

大崎鼻公園整備と防災道路建設へ

産業建設常任委員会

審査報告

林業労働者確保対策事業の内容は

市内面積の約75%を占める大切な森林資源を守り育てて行く人材を確保し、育成していくため緊急的に西予市森林組合に対して補助をします。予算額は1千158万円です。



ハーベスタ写真及びフォワーダ写真



グラップル及び枝払中

獣肉処理加工施設維持管理事業の内容は

ししの里せいよでは、良質しし肉の製造を目指して努力しているが、施設への持ち込み頭数が不足している。受入れ頭数を増やす事と製品の保存のために補助をします。施設ヘイノシシ等を持ち込みされると一頭あたり持ち込み運搬料1千円が出ます。予算額は110万円です。

決算認定

23年度における市道の整備等での設計委託数と委託料は

工事件数は273件で、委託件数は113件です。委託料は1億9千500万円です。

測量設計に対しての職員の取組み方は

出来るだけ自前でやるように心がけているが、専門性が必要なものは発注しています。

浄化槽設置整備補助は進んでいるか

72基の設置があつた。しかし、公共下水や農業集落排水の拡充、新築住宅数の減少により合併浄化槽の設置率は順調ではない。

要望

市内数ヶ所でスナゴケや甘草の自然資源素材の試験栽培を実施しているが、補助終了後も地域づくりが活発な地域で引き続き栽培に取り組んで頂くようにしている。

「大崎鼻公園整備及び防災道路の整備」を求める要望

市内で最も温暖で眺望も良好な場所であり、市の内外から多くの皆様に



大崎鼻（明浜町）

視察研修

7月9日から11日にかけて名古屋市と東京都を視察しました。

名古屋市のひかり木材株式会社では、最近の木材流通の状況や木材価格の動きなどを通して、今後の課題と動向の説明を受け、現在の木材価格の暴落と木材流通の動きの鈍さが伝わって来ました。

林野庁では国の林業施策の内容や木材価格の現状と今後の見通しと対応策を研修しました。価格下落はとも大きく、円高による輸入外材の影響も考えられる、また林業の採算性の悪化等による伐採量の減少や森林資源の成熟による造林事業量の減少等で業者数は減少傾向にあります。



ひかり木材株式会社

国として強い林業の再生プランを実施していくとの説明を受けて西予市では、木材の安定供給体制を構築し儲かる林業の実現のために森林施策の集約化を推進し低コスト化を計ります。その為には計画的な路網整備の徹底と高性能林業機械を用いた低コストの作業システムの確立が必要です。

市産材利用住宅への補助や公共建築物への更なる利用促進や間伐材等による木質バイオマス燃料への利用、木造住宅建築の担い手に対する育成支援も必要であります。

議員の賛否表（9月定例会）

議 員 名		源	井	菊	田	中	二	兵	小	松	宇	松	元	沖	森	藤	浅	岡	酒	兵	山	梅
議案・認定・要望・意見書		正	陽	純	徳	敬	一	学	正	清	宮	義	孝	健	一	朝	忠	清	宇	頭	本	川
議案第103号	西予市防災会議条例及び西予市災害対策本部条例の一部を改正する条例制定について	簡易採決																				
議案第104号	西予市教職員宿舍条例の一部を改正する条例制定について																					
議案第105号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	平成24年度西予市一般会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○		×	×	○	○	×	×	×	×	○
議案第108号	平成24年度西予市授産場特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	平成24年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	平成24年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	平成24年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	平成24年度西予市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	平成24年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	平成24年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	平成24年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	平成24年度西予市上水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	平成24年度西予市病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	平成24年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	西予市消防団消防ポンプ自動車の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	平成24年度西予市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成23年度西予市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成23年度西予市授産場特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成23年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成23年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成23年度西予市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成23年度西予市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	平成23年度西予市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	平成23年度西予市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第9号	平成23年度西予市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第10号	平成23年度西予市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第11号	平成23年度西予市上水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第12号	平成23年度西予市病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第13号	平成23年度西予市野村介護老人保健施設事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
要望第1号	大崎鼻公園整備及び防災道路の整備要望について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第12号	国民体育大会の開催に向けた支援を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第13号	東南海・南海地震対策の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第5号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第6号	国民体育大会の開催に向けた支援を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第7号	東南海・南海地震対策の推進を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員派遣の件について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 -は欠席 (議長)元親 孝志



質問 交付税減額！財政どうなる

問 来年はいよいよ合併後10年を迎えるが、これから5年間徐々に交付税が減額されていく。それに対してこれまでの取組みと財政見通しは。

市長 市では財政基盤の強化を図るため、行政組織のスリム化・職員定数の削減・公共事業や施設整備等あらゆる分野にわたって徹底した見直しをしました。決算規模も合併前300億円から現在240億円となり、合併時50億円であった積立金は今では100億円となっています。

市税等の一般財源が今後も横ばいすることから、経常収支比率は85・5％とやや財政構造の硬直化が見られますが、県内7番目に位置しており、健全財政が維持できるよう、より慎重な財政運営を行っていききたい。

基金が多すぎる

問 西予市の基金は細かく40に別れているが、その用途や性格によりまとめていくべきではないか。

総務部長 基金はそれぞれ目的があつて設置されており、統合するということとは設置目的から外れることにもなるので、慎重な対応が必要と考えます。

目的基金については、将来の事業の実施年度予算の負担軽減を図るため積み立てていきます。

消費税増税の対策

問 消費税が2014年には引き上げられるが、市民の生活に与える影響にどう市として対応していくか。

副市長 生活必需品が増税されれば一般家庭の暮らしが圧迫され、特に低所得者、生活保護受給者にとっては影響が大きいと考えられるので、市として状況を見ながら適切に対応します。

再生可能エネルギーへの転換は

問 伊方原発は再稼働に向けて準備が進められているが、住民は原発に対する恐怖がないとは言えず、その思いと現実乖離が生じると心配だ。そこで、原発から新しい再生可能エネルギー



松山 清 議員

への転換を、原発近隣自治体として打ち出すことはできないか。

市長 今回の原発事故の検証を踏まえた上で、安全な再生可能エネルギー利用の拡大政策推進について、国・県等に申し強く要望していく必要があります。



再生可能エネルギーへの第一歩
「游の里」ペレットボイラー

要があると認識しています。

西予市では、持続可能な社会構築に向けて、「西予市地域新エネルギーおよび省エネルギービジョン」を策定し推進を図っていく計画です。

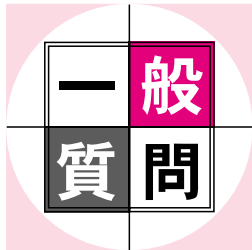
また、家畜排泄物に着目し、畜産バイオマスエネルギー活用研究会を発足させ、活用実施に向けて調査研究に着手していきます。

医師確保対策

問 新市立病院稼働に向けて医師確保の見通しとその対策は。

公営部長 最重要課題と受ける。止め、愛大・岡大の医局に向き交渉をしており、自治医科大学卒業生にもネットワークを通じ交渉中で、3大学医学部を中心に医師確保を進めたい。

当市にゆかりのある医師・医学生に呼びかけ開催した「敬作とおイネの会」でも当市の医療対策や新病院のPRを行い、地域医療の重要性を訴えたところで、「新市立病院に勤務しても良い」と回答した医師もあり、今後とも地元に関係のある医師や医学生とコンタクトをとりながら進めていきたい。



質問 人口減少時代の対応は

問 西予市の合併後の人口推移は

市長 合併時4万7千044人、平成24年4月で4万2千290人になっており、4千754人減少しております。平成47年の将来推計では、2万8千290人となっています。

人口減少の施策は

市長 本市が迎えようとしている人口減少社会は、単純な人口規模の縮小ではなく、大幅な高齢者人口比率の増加と生産年齢人口の減少という「人口構造の変化」を伴うもので、地域経済社会に大きな影響を与えることが懸念されます。中長期的な地域経済成長の基盤を確保するためにも、仕組みづくりを強力に推進する必要があると考えています。



8月現在の西予市人口



統合された下泊小学校

問 西予市の施策は

総務部長 学校統合については、「統合は避けて通れない」との考えのもと、西予市小学校再編計画に基づき、推進をしております。福祉施設については、住み慣れた地域で生活を続けられるよう基盤の整備を進めています。

また児童福祉施設については、児童の減少が考えられますので、施設の新設等は慎重に対応していきたいと考えています。

学童保育の新設について

問 市内の学童保育の現状は

福祉部長 宇和3ヶ所、野村1ヶ所、三瓶1ヶ所の5ヶ所で実施しております。運営は宇和1ヶ所と野村が保護者会、外の3ヶ所は社会福祉法人で2名から5名の職員で対応しております。料金は月額5千円から6千円程度となっており、利用登録児童数は17人から54人となっています。



酒井 宇之吉 議員



学童保育施設（宇和町）

利用人数の確保が可能になることが考えられ、補助対象となる人数（10人）の確保など、設置できる環境が整えるように検討をしていきたいと考えています。

三瓶・明浜の柑橘・漁業振興について

問 東宇和・西宇和農協また、明浜・八幡浜漁業の行政対応は

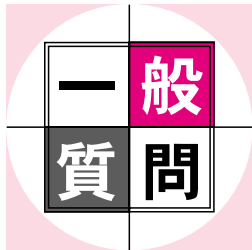
産建部長 市町村合併により行政では一つになりましたが、西予市内には、従前のまま二つの農協と二つの漁協が存続することとなりました。理想としては、市内に一つの農協、漁協が最善だと思いますが、合併の



八幡浜漁協三瓶支所

問 明浜・三瓶支所の連携の為、本庁に統合課の考えは

総務部長 支所所管業務連携調整は、本庁の担任事務となります。課の新設は困難な状況でありますが、現在の農業水産課の調整機能・体制の強化により対応したいと考えています。



質問 第一次産業の活性化について

問 赤潮被害を受けた養殖業者への支援

水産業の現状は

産建部長 水産物の価格の低下が続く中、漁船漁業は漁獲物の減少に加えて燃油価格の高騰も重なり、その経営は依然として厳しい状況にあります。

また養殖漁業においても、餌の高騰が経営の苦しさに拍車をかけるものとなり、漁家の経営の立て直しが喫緊の課題となっています。



養殖場（三瓶町）

問 稚魚・餌の支援は

産建部長 内容を精査して、前向きに検討します。

問 無茶々園における無農薬柑橘等の加工施設の整備について

産建部長 農業生産と加工・販売の一体化はいわゆる、6次産業化ということ、その為の加工施設の整備は必要不可欠と認識しています。現在市内に有機農産物を専門に扱う加工所はありませんが、食の安全・安心を求めるニーズが高い今日において将来性が十分あること、普通栽培と有機栽培農産物を一緒に加工できないという事情も十分理解できるものであります。

今この段階で無茶々園をどうするかということは、



松島 義幸 議員

言えませんが、今後ブランド化や付加価値化の促進を図るため、補助事業等を探し可能な範囲で支援を行なっていきたいと思っています。



潮彩館（三瓶町）

問 シーサイドサンパーク・潮彩館とは違った施設を

市長 無茶々園が市に対してどういう要望をされるかによって、市としてのやり方があり、そのやり方の範ちゅうに入るかどうか、そして無茶々園がそれに対して合

致した方法をとられるかどうか。今後お互いが研究・検討をしていけば、新しい6次産業としての加工施設が十分可能だと思っています。

問 森林に対する今後の取り組みは

市長 西予市は75%近い山を抱えています。

今は大変な状況ですが、別の角度からは将来に対する財産を持っているという考えになります。労働される方々の力によって変わっていくと思います。

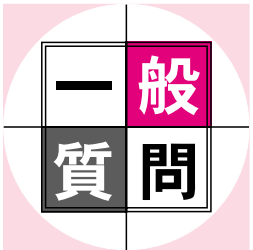
林業問題は過疎問題・限界集落問題と表裏一体の関係にあり、従ってこの問題をしっかりと捉えることにより一歩前進します。そして、そこで働く関係者への波及効果が大きく、今後林業問題については真正面に向き合ってやっていきたいと思っています。

問 地産地消拡大で自給率は上がるのか

副市長 愛媛県下では85万1千㎡の木材供給量となっており、その内外材が29万㎡、約34%となっています。一時は外材が多い時代があったが、最近は国産材志向で、愛媛県下では国産材が多くなっています。

問 除伐・切り捨て間伐に対する支援を

西予市では、国・県の補助事業にのった形で補助制度として取り組んでおり、受益者としては、森林組合・エフシーとか企業単位が補助対象となっています。市全体の森林保全をする為の切り捨て間伐については、現時点では、個人の財産形成についてまで補助を出すかどうかは自治法上の問題等があるので、今後国・県とも協議をしながら、市としても幅広い森林整備が出来るよう制度設計を検討していきたいと思っています。



広域化の取組み状況

問 広域化のメリットは

消防長 署所の出動体制を見直すことで、災害現場への到着時間が短縮する地域があることと、体制の合理化により現場人員の増員が可能になります。

問 デメリットは

消防長 広域化に伴う初期投資が大きいことと、職員の身分統一等により財政負担が増大します。

問 現状の組織のままでも、救急だけでも一本化が出来ないのか

消防長 総合応援協定により近隣との協力体制が出来ているため

質問 消防行政を問う

問 西予市合併当時から、三瓶地区は八幡浜事務組合にお願いしたままになっているが今後の対応は

市長 消防の広域化はすべきと思うが、これまでの経緯の中では難しいと考えています。南予または大洲・八幡浜との広域化も模索してきたが現状では難しい。自治体消防として、西予市の責務を考えると、八幡浜消防とのテール

問 聴覚障がい者の119番

消防長 ガチャピー導入の可能性は

携帯電話の使用状況に関するアンケート調査を実施しました。

携帯電話を使用されている35名中33名がメールの利用ができるとの回答があり、また、55名の方が緊急通報メールの利用を希望されている調査結果からも、ガチャピーも含めて緊急通報メールを利用した119番受信体制を構築したい。



二宮 一郎 議員

問 救急・消防車が入らない救助活動

消防長 山間部・海岸部の道路状況は比較的幅員があり、人家近くまで進入できますが、高山地区など、軽自動車でも進入できない狭い道路が多くあり担架及びストレッチャーにより対応しているため車内収容まで時間がかかる場合があります。

問 現実の活動状況は

消防長 山間部・海岸部の道路状況は比較的幅員があり、人家近くまで進入できますが、高山地区など、軽自動車でも進入できない狭い道路が多くあり担架及びストレッチャーにより対応しているため車内収容まで時間がかかる場合があります。

問 障がい者基本法改正後の対応は

福祉部長 一般相談支援事業は、市内1ヶ所・市外2ヶ所に委託、高齢福祉課障害福祉係内に専門職員を配置して相談を

受けています。

問 B型事業所の賃金の現状と、市として支援の取り組みは出来ないのか

福祉部長 市内5事業所平均で月額1万2千134円です。県が進めている、工賃向上計画に従って支援していきます。

防災総点検

問 国・県管轄の道路・河川・橋梁・港湾の危険個所の維持管理状況は

産建部長 改良状況は、国道69・9%、県道16・8%で、法面等防災、橋梁耐震補強、トンネル保全の必要箇所に対する対策状況は、要対策箇所94ヶ所のうち昨年度までに77ヶ所完了のことです。

問 防災対策上改修が必要な市道の状況

産建部長 全延長1千144kmについて定期的な点検・随時のパトロール・



がけ崩れ（城川町）

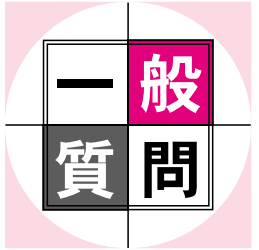
市民からの連絡等により、その都度、必要な道路維持工事や災害復旧工事を行っています。

問 急傾斜地の改修が必要な個所の取組み計画は

産建部長 崩壊危険箇所793のうち、戸数5戸以上の箇所が205ヶ所、5戸未満が588ヶ所で、145ヶ所が対策済みです。

今年度において、がけ防災対策事業及び集落・避難路斜面保全地震対策事業により、21ヶ所の工事施工を予定しています。

なお、がけ防災対策事業工事の要望箇所、30ヶ所が未実施であり、引き続き県に要望し、急傾斜地の改修に取り組みます。



問 中心市街地を担ってきた商店街が衰退しているが、これまでの取り組みと今後の対応は

市長 都市計画マスタープランで、宇和・野村・三瓶地区を市街地として位置づけ、歴史、文化、産業を活かしたまちづくりの方向性や土地利用を示しています。プレミアム商品券事業や各種支援を行ってきましたが、今後も魅力・個性を伝え、顧客の増加を図りたいと思います。

空き店舗や空家が増えているのが現状ですが、賑わいのある市街地を取り戻すためには、誰が・何を・どうすべきか、関係機関と危機感を持って取り組んでいきます。



卯之町の町並み



宇和地区商店街

質問 中心市街地活性化対策は

語を加えることで、小さな町並みに大きな広がりや深みをもたらすものと考えます。

米どころとして成立していたこの在郷町に相応しい、お米やごはんに関するイベント・食品や特産品の研究・商品化を図りたいと思います。

住民の皆さんとの共通認識の中で、地域とのコミュニケーションを持ちながら人づくり・環境づくりといった地道な取り組みを進めていきたいと考えています。

問 卯之町の町並みと商店街をひとつのエリアと捉えた一体的な対策が出来ないか

市長 保存と振興とそれし一体となつて取り組む必要があります。保存については教育委員会が、

せいよ地域づくり 交付金事業

問 昨年度の事業成果は

総務部長 昨年度からスタートしました。市内27地域で地域の特色を生かした個性的な事業が行われています。地域のPRも兼ねて実



地域づくり交付金事業で整備された防犯灯



源 正樹 議員

問 有効活用のために、も住民が多い地域へ担当職員を増員すべきでは

総務部長 最初は地域間格差が生じるのは必然であります。

先行する地域に刺激を受けて、他の地域が活性化するように取り組みます。全体で62名の職員を担当職員という立場で配置していますが、宇和地区・野村地区・大和田地区には4名の配置をしています。

今後、効果的な事業推進のためにも担当職員のあり方について検討していきたいと思っています。

ホームページ改革

問 今後のタイムスケジュール等作業内容は

総務部長 平成25年3月初旬の完成を目標に進める予定です。

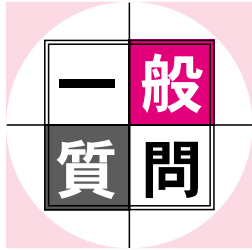
まずは、庁内プロジェクトチームで約3ヶ月間かけて画面レイアウトや操作性などの調査検討・作業を行います。

問 市民の意見を反映できるような機会

総務部長 議会を含めて、様々な方の意見を聞きながら進めて行きます。



使いやすいホームページを！



ジオパーク構想の推進について

問 構想が目指すものは

市長 西予市全体が自然公園で数多くのものが眠っています。それに気付いたり発見したり、並行して人づくりをします。ジオパークブランドを使用して市内外へ発信していきます。



狩浜（明浜町）



大野ヶ原（野村町）

質問 ジオパーク認定へ、どう動く

問 進捗状況は

産建部長 今年度は次の4点に取り組みんでいます。推進体制の確立・市民への啓発・ジオガイドの養成・ガイドマップの作成で、ほぼ計画どおりに進んでいます。

問 認定に向けての対応は

産建部長 皆様の関心の高さが重要視されるが、市民の皆様の関心が高まって来ていると感じています。

地域内分権の推進

問 地域づくり交付金支給期限及び金額の見直しは

総務部長 昨年から強い要望で今年度は1千万円増額しました。平成28年の次期総合計画時に効果を検証します。



どいつこ夢大賞（城川町）

問 特別にジオパーク関連活動分についての交付金増額はできないか

市長 地域の活性化を目的に、強い思いを



巡回バス

問 運行の目的は

福祉部長 住民の交通手段を確保し福祉の向上

問 路線・時刻・料金の見直しは

総務部長 平成26年6月の新市立病院の開院に合わせて新交通体系を構築していくようにいろいろなご意見を伺うようにしています。10月頃には町内の区長さんに集まって頂きご意見を聞かせてもらう予定です。

福祉部長 利用者数は年々、減少傾向です。

問 利用状況は

に寄与する事を目的に現在7路線で宇和町内各地域から宇和病院、市役所などの公共施設及び游の里温泉などを結んでいます。乗車賃は一回、100円です。

知っていますか 請願・陳情の出し方

みなさまからの要望や意見など伝える方法として、文書による請願・陳情の提出があります。

請願・陳情は、関係委員会審査の上、本会議で諮って採否を決めます。採択されたものは市長や関係機関に送付するなどし、市制に反映できるようになっています。

記入事項や様式例など詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

西予市議会事務局

0894-6216413

明浜町

宇都宮 饒さん(69歳)

- ①読書を少々
- ②特になし
- ③交通機関が不便
- ④良い新市立病院が建つように
- ⑤ケーブルテレビでよく見ている



三好 恭弘さん(36歳)

- ①仕事
- ②ゴルフ
- ③社長との確執
- ④頑張る人を応援するような政策を
- ⑤今以上に良いまちになるようしっかりと仕事を



城川町

柳澤 治さん(西予市商工会)

- ①会員さんに迷惑をかけないように
- ②事業の維持
- ③愛媛銀行城川支店の廃止
- ④支所の維持
- ⑤イベント開催に応援を



若松 芳忠さん(66歳)

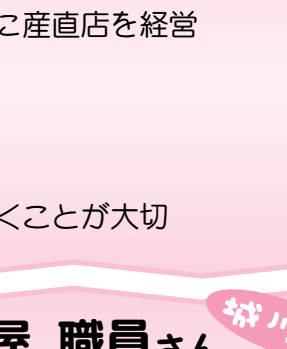
- ①農業
- ②野菜をきなはい屋に出荷
- ③息子にお嫁さんがいない
- ④介護施設の充実
- ⑤関心がなかったがケーブルテレビで見ている



城川町

小田原 栄さん(62歳)

- ①買い物難民のために産直店を経営
- ②長く店を続ける
- ③休みが取れない
- ④後継者育成
- ⑤外に出て意見を聞くことが大切



きなはい屋 職員さん

- ①仕事(イベント実施)
- ②新商品の開発
- ③駐車スペースが少ない
- ④城川に葬祭場建設を
- ⑤西予市全体を見渡せるように議員の資質向上を



城川町

デイサービスグループ

- ①「みのり会」で花壇やお宮の清掃などを
- ②健康に過ごす
- ③特になし
- ④福祉バスがあって助かっている
- ⑤現状維持に努めて欲しい



明浜町

まちカド
アポなし
インタビュー

明浜町



清家 サトヲさん(85歳)

- ①子どもに世話をかけないよう元気に
- ②年を取っているので欲張らずに
- ③交通機関が少ないこと
- ④公共交通バスの整備を
- ⑤地元の議員がしっかりしているので信頼している

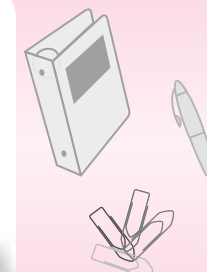


明浜町

明浜町

平野 祥子さん(29歳)

- ①とにかく仕事
- ②仕事のスキルアップを目指して
- ③特になし
- ④子どもがたくさんいる明るいまちに
- ⑤満足しています



インタビュー項目

- ①今、頑張っていることは？
- ②これからチャレンジしたいことは？
- ③今、困っていることは？
- ④西予市に望むことは？
- ⑤西予市議会をどう思うか？

42,000人が住む西予市。市民のみなさんのご意見を聞いてみたいと始めました「まちカドインタビュー」。議会だより編集委員会メンバー全員で手分けして取り組みました。今回は、明浜町と城川町に。今回は、皆様、本当にありがとうございました！